TONE コードレスシャーレンチ 要保管

取扱説明書
INSTRUCTION MANUAL No.2607

⚠警 告

●製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、
理解していただいた上でご使用ください。
●取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。
●日本国内での使用に限定させていただきますので、ご了承ください。
日本国外での使用につきましては、保証できません。
The models described on this instruction manual can only be used in Japan.
Cannot be used outside Japan.

この度は、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■まず、下記事項をご確認ください。

●輸送途中で破損した箇所がないか。
●ねじ・ボルトに脱落・緩みがないか。
●注文通りのものが入荷しているか。
●付属品は、全部揃っているか。

万一、不具合な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお申し付けください。

■製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。
人身事故や故障を未然に防ぐ為にも、取扱説明書の内容を
理解していただいた上で、ご使用ください。また、ご使用方法を熟知された方、
すでにお読みになった方も、ご使用前には、今一度取扱説明書をお読みください。

お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、
お買い求めの販売店、または弊社営業所までお問い合わせください。

TONE株式会社

目次

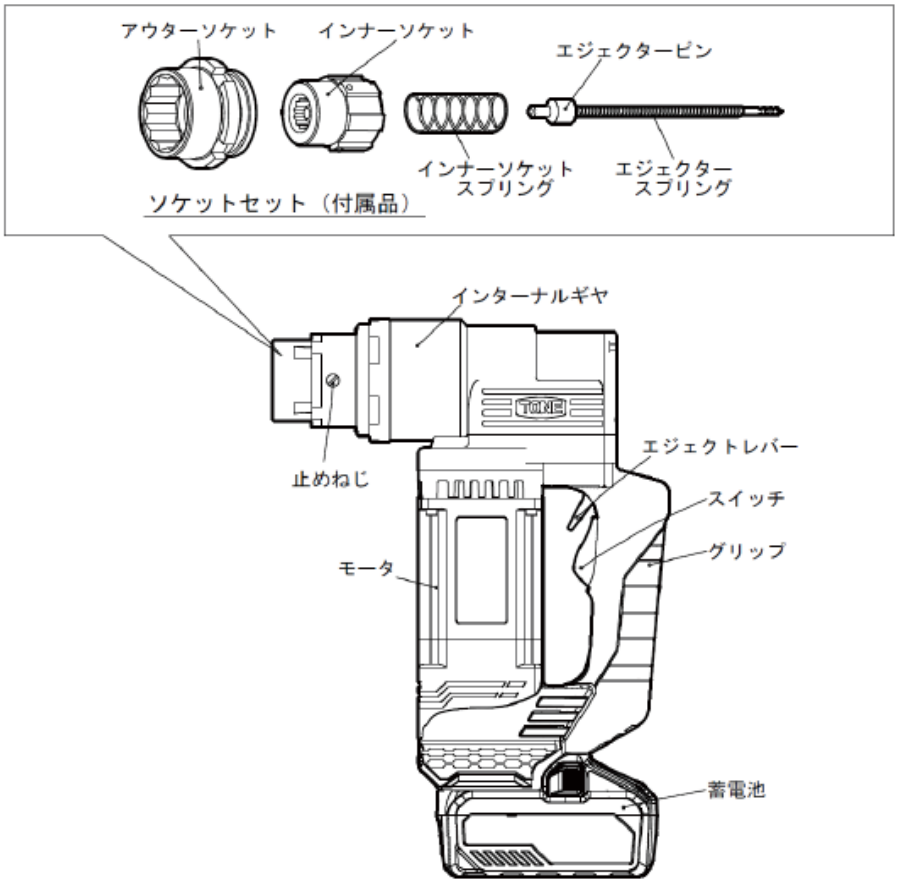
用　途 3
各部の名称 3
注意文について 4
⚠ご使用上の注意事項 5
ご使用前に 11
部品の交換方法　−ソケットの交換方法− 12
部品の交換方法　−蓄電池の取付け・取外し− 16
電池残量について 17
操作方法 18
保守点検 20
故障診断 21
アフターサービス 24

用　途

■トルシア形高力ボルト（通称：トルシャーボルト，シャーボルト）の締結を
目的とするコードレスレンチです。

各部の名称

各部の名称



注意文について

注意文の ⚠危 険　⚠警 告　⚠注 意　の意味について

■ご使用上の注意事項は ⚠危 険 ⚠警 告 ⚠注 意 に
区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危 険	誤った取り扱いをしたときに、 使用者が死亡または重傷を負う危険が 切迫して生じることが、想定される内容のご注意。
⚠警 告	誤った取り扱いをしたときに、 使用者が死亡または重傷を負う可能性が 想定される内容のご注意。
⚠注 意	誤った取り扱いをしたときに、 使用者が傷害を負う可能性が想定される 内容および物的損害の発生が 予想される内容のご注意。

なお、⚠注 意 に区分した事項でも、
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、守ってください。

⚠ご使用上の注意事項

■火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、
次に述べる「注意事項」を守ってください。

■ご使用される前に、この「注意事項」をお読みいただき、
指示に従って正しくご使用ください。

⚠危　険

●高所作業での感電に注意してください。

〇高所での感電は、転落・落下事故を引き起こし、大変危険です。

⚠警　告

●感電に注意してください。

〇雨中や雪中、および濡れた所や湿った所では、
使用しないでください。

〇濡れた手で電源プラグに触れないでください。

感電・火災・漏電の原因になります。

●ガソリン・ガス・シンナー・ベンジンなど引火性危険物がある場所では、使用しないでください。

爆発・火災の原因になります。

●高所作業での、落下事故に注意してください。

〇安全帯を着用してください。

〇落下物による危険防止のため、作業場にはネットや帆布などによる安全策を講じてください。

〇作業場の下に、人がいないことを確認し作業してください。

〇心身の疲れを感じた場合は作業をしないでください。

転落・落下事故の原因になります。

●無理に使用しないでください。

〇能力範囲内で使用してください。

能力範囲を超える使用や、本来の目的以外の使用は
損傷をまねくばかりだけでなく、事故・けがの原因になります。

●不意な始動は避けてください。

〇スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。

〇電源プラグを差し込む前や、蓄電池を差し込む前に、
スイッチが切れていることを確認してください。
誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。

●次の場合は、電源プラグを電源から抜くか、蓄電池をレンチから取外してください。

〇使用しない場合

〇付属品などを交換する場合

〇点検・整備を行う場合

〇その他、危険が予想される場合

不意に起動し、けがの原因になります。

●電源は、銘板表示の電圧で使用してください。

火災・やけど・破損・けがの原因になります。

⚠警　告

●分解・改造をしないでください。

〇分解や改造は、感電・火災・故障・けがの原因になります。

〇ただし、消耗品は必要に応じて交換してください。

●使用しない場合は、所定の場所に保管してください。

〇乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に鍵を掛けて保管してください。

故障および、誤操作・事故の原因になります。

〇レンチや蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏場の車内など）に保管しないでください。

蓄電池劣化の原因になり、発煙・発火の恐れがあります。

〇結露対策として氷点下になりやすい環境での長時間放置は避け、極力あたたかな屋内に保管してください。

事故・故障・精度不良・感電・火災・漏電の原因になります。

●運転中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

〇お買い求めの販売店までご連絡ください。

感電・火災・けがの原因になります。

●修理は、お買い求めの販売店までお申し付けください。

修理知識および技術力のない方が修理されますと、性能を発揮できないだけでなく、事故・けがの原因になります。

●ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。

〇部品に変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。

異常がある場合は、使用しないでください。

感電・火災・やけど・けがの原因になります。

●落としたり、ぶつけたりしたときは、異常がないか点検してください。

〇変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。

異常がある場合は、使用しないでください。

感電・火災・やけど・けがの原因になります。

●作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

〇レンチ・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。

感電などの原因になります。

●部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

取付けが不完全であると、事故・けがの原因になります。

⚠警　告

●指定の蓄電池および充電器を使用してください。

〇改造した蓄電池（分解してセルなどの内蔵部品を交換した蓄電池を含む）を使用しないでください。

レンチの性能や安全性等を損なう恐れがあり、
けがや故障・発煙・発熱・発火・破裂などの原因になります。

●蓄電池および充電器の取扱説明書をお読みになり、十分に内容を理解してからご使用ください。

●レンチ、およびレンチ端子部（蓄電池取付部）、および蓄電池端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。

蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、
発煙・発熱・発火・破裂などの原因になります。

●レンチ端子部（蓄電池取付部）、および蓄電池端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

〇使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。

〇作業中にレンチに付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。

〇使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所にレンチおよび蓄電池を放置しないでください。

短絡（ショート）して、発煙・発熱・発火・破裂の原因になります。

●異臭・発熱・変色・変形・破損(クラックを含む)、その他異常がないことを、使用前・使用中・使用後に確認してください。
異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠注 意

●作業場は、いつもきれいに保ってください。

○ちらかった場所や作業台で使用しないでください。
事故の原因になります。

●子供を近づけないでください。

○作業者以外にレンチやコードに触れさせないでください。
○作業者以外を作業場に近づけないでください。

●作業する場所の安全を確認してください。

○常に足場をかため、身体の安定を保って作業してください。
○コードを物に巻き付けないでください。
○コードで足を引っかけないよう、注意して作業してください。
○作業場は、明るくしてください。

●作業に適した機種選定をしてください。

○用途以外に使用しないでください。

●作業に適した服装で作業をしてください。

○屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物を
ご使用ください。
○作業現場に入る時は、ヘルメット・帽子などを正しく着用してください。

●付属品は、当社純正品をご使用ください。

○弊社カタログに記載されている付属品の交換は、
当社純正品をご使用ください。
事故・故障の原因になります。

●モータの通風を良くしてください。

○モータの通風口に異物を差し込まないでください。
○モータの通風口を物で覆わないでください。

●念入りに手入れをしてください。

○使用の際は、握り部および握り手を常に乾いた状態に保ち、
油・グリスなどが付かないようにしてください。

●騒音に関する法・条例を守ってください。

○各都道府県の条例で定める工場・事業所で使用する場合は、
周辺に迷惑をかけないよう、各条例で定める騒音規制値以下で
ご使用ください。必要に応じて、遮音壁を設けてください。

⚠注 意

●気温が低い状態でご使用になられる場合は、
ご使用の前に蓄電池の温度を常温に戻し、
使用直前まで常温環境下に保管しておいてください。

〇蓄電池が低温の場合、通常使用時と比べて性能が低下し、
十分に締付けできない可能性があります。

〇蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、
お買い求めの販売店、または弊社営業所まで
ご持参ください。

〇使用できる蓄電池

新しい蓄電池は、工機ホールディングス株式会社製をご使用ください。
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解して
セルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、
安全性や製品に関する保証はできません。

ご使用前に

⚠警　告

●下記の事項は電源プラグを電源に差し込む前に、
あるいは蓄電池をレンチに差し込む前に確認してください。
不意に起動し、けがの原因になります。

○レンチの点検
レンチ／部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか点検してください。
異常がある場合は、使用しないでください。

○電源の確認
銘板に表示してある電源でご使用ください。

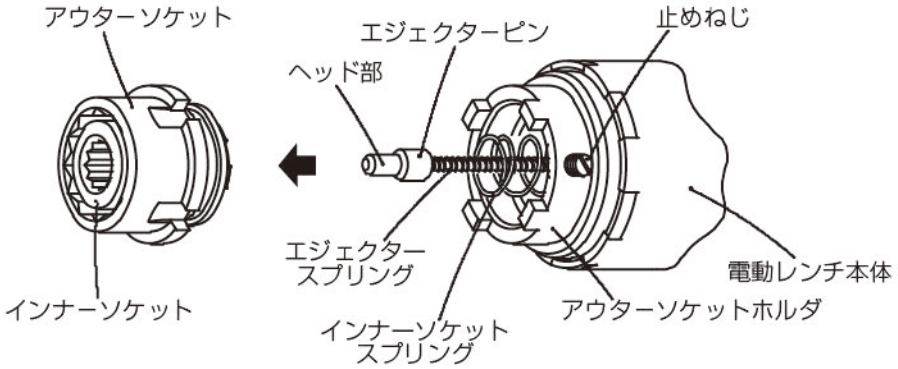
○ソケットの選択
締付けるボルト／ナットのサイズに応じたソケットをご用意ください。

○部品の装着
部品は、レンチに確実に取付けてください。
取付けた後は、部品が本体から外れないことを確認してください

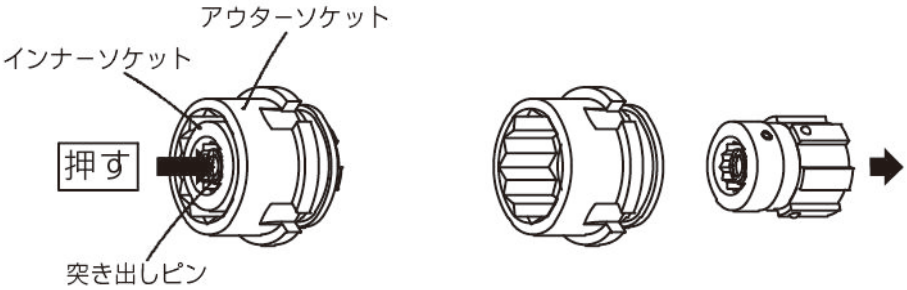
部品の交換方法 –ソケットの交換方法–

■ソケットの交換方法 その１

○付属の(－)ドライバーで、
レンチの先端にある2ヶ所の止めねじを緩め、アウターソケットと
インナーソケットがセットされた状態でレンチから取外します。
･･･止めねじは緩めすぎると抜け落ちます。紛失する恐れがありますので、ご注意ください。



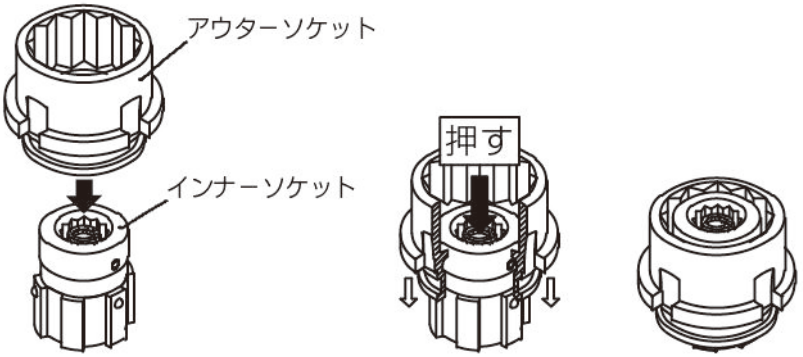
○アウターソケットからインナーソケットを外す場合は、突き出しピンを
付属の(－)ドライバー、またはボルトのピンテールで押すと外れます。



●突き出しピンは、インナーソケット内にあるドーナツ状の部品のことです。

〇締付けるボルトサイズに合った、
アウターソケットおよびインナーソケットを、ご用意ください。
・・・たとえばM22のボルト締付けには、
M22用の当社純正アウターソケットおよびインナーソケットをご用意ください。

〇アウターソケットとインナーソケットを、次の方法でセットしてください。
インナーソケットを立て、その上にアウターソケットをかぶせます。
その状態で、インナーソケットに
付属の(－)ドライバー(M22，M20，M16で利用可能)、
またはボルトのピンテールを押し込んで
突き出しピンを押し込むとセットできます。

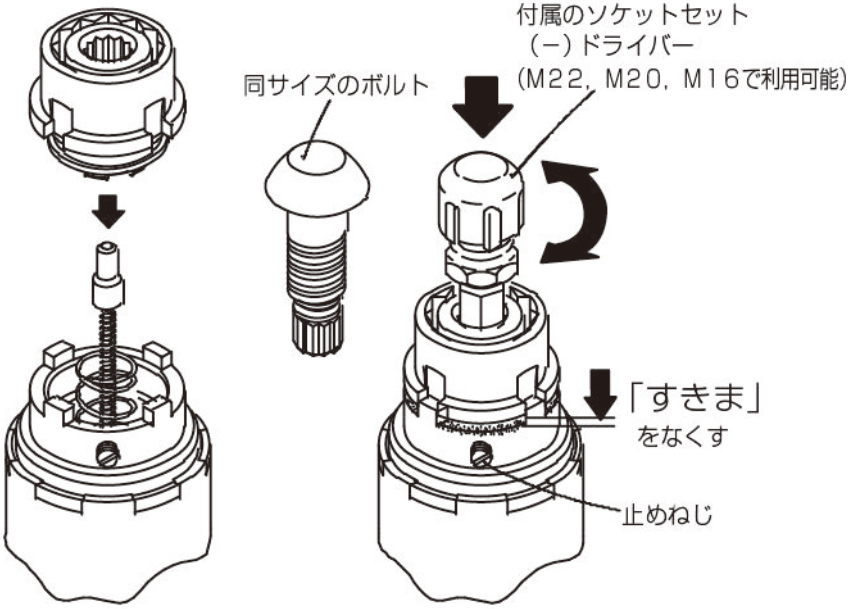


○インナーソケットスプリングがレンチに正常にセットされているか、
確認してください。

次に、アウターソケットとインナーソケットをセットした状態で、
アウターソケットの凹凸部を本体のアウターソケットホルダの凹凸部の位置に
合わせて差し込みます。

差し込むとき、本体とアウターソケットとの結合部に、
「すきま」が生じて入らない場合があります。
この様な場合は、付属の(－)ドライバー(M22，M20，M16で利用可能)、
または同サイズのボルトのピンテールをインナーソケットに差し込み、
左右に小刻みに廻しながらインナーソケット・アウターソケットの順で
差し込んでください。

「すきま」がなくなったことを確認し、止めねじを確実に締付けてください。



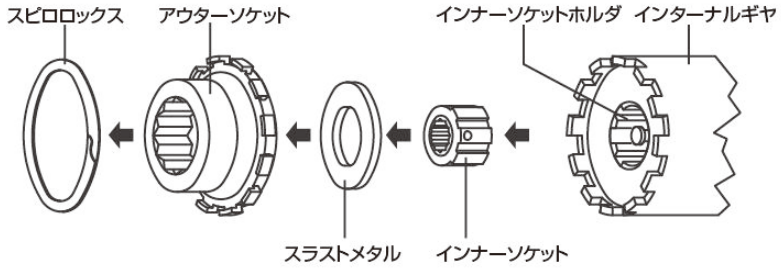
⚠警　告

●「すきま」をなくし、ソケットをレンチにセットしてください。

けが・破損の原因になります。

■ソケットの交換方法　その2

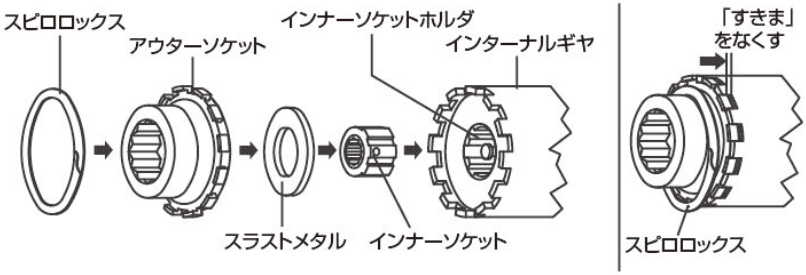
〇インターナルギヤとアウターソケットとの結合部にある
スピロロックスの切欠部をドライバー等でこじ起こし、
回転させながらスピロロックスを取外し、
アウターソケット・スラストメタル・インナーソケットを取外してください。



〇締付けるボルトサイズに合った、
アウターソケットおよびインナーソケットを、ご用意ください。
・・・たとえばM22のボルト締付けには、
M22用の当社純正アウターソケットおよびインナーソケットをご用意ください。

〇インナーソケットをインナーソケットホルダのスプライン溝に差し込んでください。
次に、スラストメタルを差し込みます。

〇アウターソケットの凹凸部をインターナルギヤの凹凸部に差し込みます。
「すきま」がなくなったことを確認し、
スピロロックスをインターナルギヤの内側の溝に確実に取付けてください。



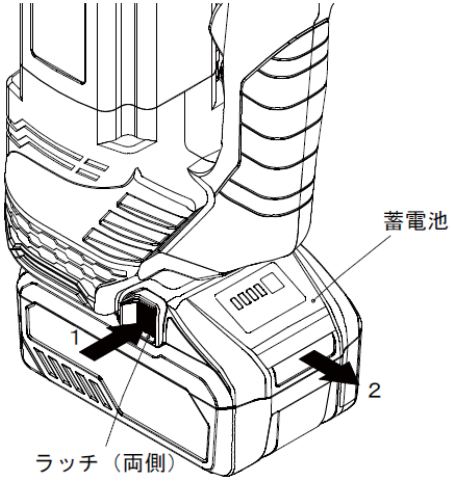
⚠警　告

●「すきま」をなくし、ソケットをレンチにセットしてください。
けが・破損の原因になります。

部品の交換方法 –蓄電池の取付け・取外し–

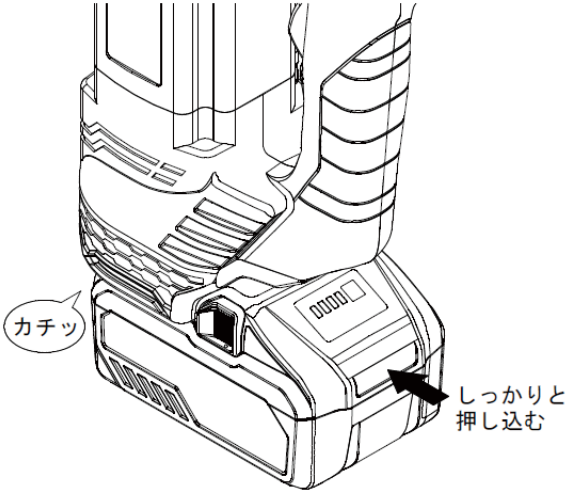
■取外し

蓄電池をレンチ本体から取外すときは、
両側のラッチを押しながら、スライドさせると取外せます。



■取付け

蓄電池をレンチ本体に取付けるときは逆の要領で、
レンチ本体の溝に合わせ、奥まで差し込んでください。
この際に、「カチッ」と音がするまで、奥まで確実に差し込んでください。



電池残量について

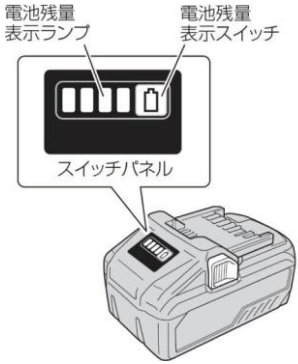
○電池残量表示スイッチを押すと
ランプが点灯して、
電池残量を確認することができます。

○電池残量表示スイッチを押してから、
約3秒後にランプは消灯します。

○電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

トルク制御、角度制御している機種は電池残量ランプ点灯が2個以下で、精度保持のため出力停止します。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電 池 残 量
	点灯	75% 以上
		50% ～ 75% 未満
		25% ～ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止※1
		故障のため出力停止※2

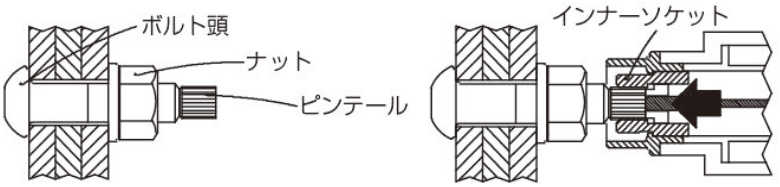
※1：蓄電池をレンチ本体より取外し、
十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので
お買い求めの販売店、
または弊社営業所にご相談ください。

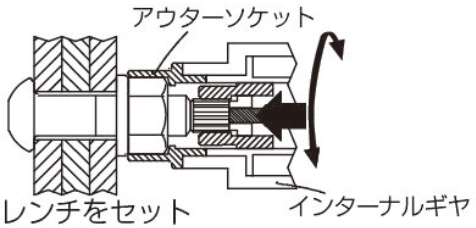
操作方法

■本レンチは本締め用です。
あらかじめ1次締め専用レンチ（ ）などを使用し、
定められた方法で“1次締め”を行ってください。

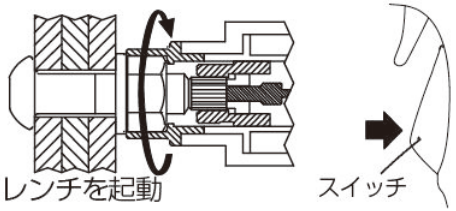
○インナーソケットをボルトのピンテール部に完全に差し込んでください。



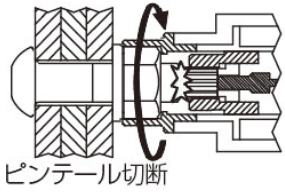
○アウターソケットをナットに完全に差し込んでください。
･･･差し込みにくい場合は、左右にインターナルギヤを揺動させながら差し込んでください。
･･･ナメリ防止機能により、ピンテールの差し込みが不十分ですと、
アウターソケットをナットに差し込むことはできません。



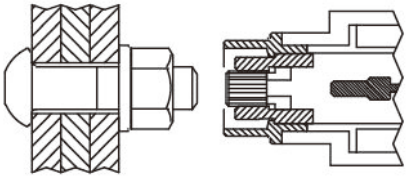
○スイッチを引いて起動してください。
アウターソケットが回転し、ナットを締付け始めます。



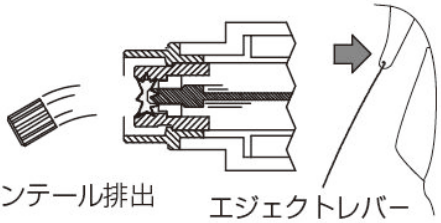
○締付けが進むと回転スピードが徐々に遅くなり、規定トルクに達すると、
ボルトの破断溝部でピンテールが切断されます。



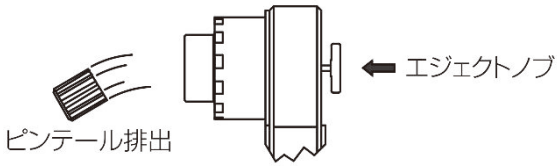
〇レンチをナットからまっすぐ引き離してください。
　インナーソケットには、ピンテールが残っています。



〇エジェクトレバーを引いて、ピンテールの排出を行ってください。



極短型のレンチの場合は、
エジェクトノブを押してピンテールの排出を行ってください。



⚠警　告

●ボルト/ナットへの差し込みは、モータ停止状態で行ってください。

モータが回転した状態でボルト/ナットへの差し込みを行うと、
正しく締付けできないだけでなく、けが･事故の原因になります。

●作業中は、下に人がいないことを確認してください。

〇ピンテールは不用意に投げ捨てず、
所定の袋に入れて安全作業に心がけてください。
けが･事故の原因になります。

保守点検

⚠警　告

●保守点検を行うとき、使用後および停電のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源から抜く、あるいは蓄電池をレンチから取外してください。

不意に起動し、感電・けがの原因になります。

●エジェクトレバーの操作を行わずにピンテールが脱落する場合は、インナーソケットを新品と交換してください。

〇インナーソケットの内側部分が摩耗しますと、ピンテールが脱落し易くなり大変危険です。直ちにインナーソケットを新品と交換してください。
けが･事故の原因になります。

●エジェクトレバーを操作して、エジェクターピンを突き出してから作業をしてください。

〇不意にエジェクターピンが突き出す場合があり、失明など、けがの原因になります。

〇ソケット部およびソケットとレンチの取付け部周辺は、異物（ほこりなど）が混入し易い箇所ですので、定期的に取外して清掃してください。

〇汚れを拭き取る場合は、乾いたウエスで拭いてください。
ベンジン・シンナー・ガソリンなどの有機溶剤で拭かないでください。
ひび割れや変色の原因になります。

〇モータ内部には、油・有機溶剤など、異物が入らないよう注意してください。

〇作業終了後は、メタルケースに入れて乾燥した場所に保管してください。

〇エジェクター機構の部品が摩耗しますと、エジェクター機構が働かなくなり、ピンテールの打ち出しができなくなる場合や、
ピンテールが脱落する場合がありますので、
お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

〇6ヶ月、または3万本使用毎を目安にオーバーホール（有償）を受けてください。
なお、オーバーホールにつきましては、お買い求めの販売店、
または弊社営業所までお申し付けください。

〇端子部に切りくず、ほこりがたまっていないかを点検してください。
　作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

故障診断

〇連続作業について
　モータおよびモータの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、
　温度保護回路が搭載されています。
　連続的に作業を行うと、レンチ本体の温度が上昇するため
　温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。
　その際はレンチ本体を十分に冷却してください。
　温度が下がれば再び使用することができます。
　また、連続的に作業する際は、
　蓄電池の交換時にレンチ本体を15分程度休ませてから使用してください。

〇故障診断

状　　況	原　　因	対　　策
スイッチを引いても起動しない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
レンチが停止する	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	締付け中に過負荷が掛かった	過負荷状態になるとモータが自動停止します。締付け状況を確認して過負荷の原因を取り除いてください。
	蓄電池またはレンチ本体が過熱状態になった	蓄電池およびレンチ本体を十分冷ましてください
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取り付けようとした	蓄電池は工機ホールディングス製のマルチボルトタイプ蓄電池を使用してください。

「故障診断」で対応できない場合は、
お買い求めの販売店、または弊社営業所に相談してください。

また、
蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組で持参してください。

MEMO

MEMO

アフターサービス

■取扱説明書・レンチ本体・付属品などに記載されている
警告ラベル などの注意書に従って正しくご使用ください。

■アフターサービスについての詳細につきましては、
お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。

尚、お問い合わせの際には、
型式・製造番号・購入年月日・電圧・故障状況などを詳しくご報告ください。

⚠注 意

●精度不良、および故障などによって
重大な損害が生じると予想される場合は、使用しないでください。
事前に予備機などの代替手段を用意してください。

●予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。
変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。

●Specifications may be changed without notice.
Modification of instruction manual will be substituted for the notice.

TONE TONE株式会社
〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号
TEL (0721) 56-1850 FAX (0721) 56-1851
Web Site: https://www.tonetool.co.jp
e-mail: ko-eigyo@tonetool.co.jp

TONE TONE CO., LTD.
6-25, KOTOBUKI-CHO, KAWACHINAGANO-SHI, OSAKA 586-0026, JAPAN
Web Site: https://www.tonetool.co.jp
e-mail: overseas@tonetool.co.jp

IMKI144